

平成30年度 児童発達支援自己評価表

事業所名 めやすばこ ひ・よ・り きっず

作成日：平成31年2月8日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	・活動や参加人数に応じてスペースの使い方、配置を調整している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	・活動に必要な人員を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	・イラスト等を活用しながら、何をすべき場所か分かりやすいよう、環境を設定している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	・活動に合わせてレイアウトを工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	6	0	・目標管理シートを活用しながら業務改善に取り組んでいる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	・アンケートに基づいて、不備な点があれば改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	・法人のホームページにて公表している。
	8	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	・第三者評価は実施していない。
	9	職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	6	0	・研修・勉強会等を行っている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	6	0	・複数の職員の視点からアセスメントを行う。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	・太田ステージ検査および生活スキルチェックリストを実施、活用している。 ・標準化されたものではないが、アセスメントから見えた様子を記録にとり、支援につなげている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	・内容を具体的に設定するようにしている。 ・保護者や園からの要望を取り入れながら設定している。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	・職員間で支援計画を共有し、支援を行っている。 ・支援計画に基づいて課題を考案している。
	14	活動プログラムの立案をチームでおこなっているか	6	0	・毎月の会議の中で全員で話し合い、決定している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	・週によって設定活動を変えている ・メンバー構成や活動内容に配慮している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	6	0	・子どもの遊びや社会性の段階を踏まえて活動や目標を設定している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	・朝礼、昼礼を行い、スケジュール等を確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか	6	0	・昼礼、終礼を行い情報交換している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	・日誌等でも情報共有を図っている。
	20	定期的にモニタリングを行ない、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	・児の様子について児童発達支援管理責任者、職員で話し合い、目標を見直ししながら取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	・児童発達支援管理責任者、子どもの状況について精通した職員とで参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっているか	5	1	・気になることがあれば報告したり、連絡を頂いたりしながら連携をとっている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか			・該当なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・該当なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	・情報共有のためのシートの作成を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	・ケース会議への出席や、移行の為の書類を作成し、保護者経由で情報を伝えている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	・市や研究会での連携の為の会や、研修会等に参加し、他事業所との繋がりも持てるようにしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	・保育園・幼稚園との併用の子どもがほとんどであるが、事業所として交流を持てる機会を設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	4	・参加の案内があれば積極的に参加している。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回お迎えの際、保護者と今日の様子や特性を話し合う時間を設けている。 ・気になる様子を職員同士で話し合い、情報共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け勉強会を法人で行っている。 ・懇談時、具体的な関わり方について助言等行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、書面を用いて説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行ない、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談を実施し、お話の機会を設けている。 ・懇談の中で支援計画の説明を行っている。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談があった場合はその気持ちにより添い、適切な助言ができるよう心がけている。 ・保護者との個人懇談を実施している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会や勉強会を開催している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・内容に応じて対応できる範囲で対応できるようにしている。分からないことは職員間で相談、伝達し早めの対応ができるよう努めている。 ・場合によって開所時間外の電話やメールでの対応にも応じている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、会報を発行している。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きのロッカーでの書類の保管や、広報誌等への写真等の利用に関しても保護者同意の上使用している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な提示を用いて知らせる等、伝わり易いよう配慮している。 ・本人の理解についてアセスメントをとりながら個々にあわせた配慮を工夫している。 ・保護者へ対しても実際のツールを見ていただいたりしながら情報伝達につとめている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招待する活動は行っていない。
	非常時	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況を想定した避難訓練を定期的に実施している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、保護者からの聞き取りで確認している。 ・見学時、契約時に直接伺って確認を取っている。

時 等 の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	・保護者からの自己申告に基づいて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	・その都度書面に残し、口頭でも周知させている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	・法人で外部講師を招き、虐待防止の研修を受けている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	1	5	・現状、身体拘束が必要な子どもはいはないが、状況に応じてマニュアルや説明に必要な書類が整っている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。